

# 協和プレス工業(株)

長

田中地区にある協和プレス工業株式会社は、金属の板を曲げたり、打ち抜いたりして製品を作る「板金加工」のメーカーで、主に冷暖房機器の部品製作を手がけています。人が快適に暮らすための冷暖房機器ですが、最近では植物やコンピューターの冷却など業務用としての需要も増加しており、10年間で売

上高を2倍以上に伸ばし、成長を続けています。

「女性が働きやすい職場にしていきたいですね」と話すのは管理部で部長を務める野村侑加さん(34)。従業員約100人のうち、3割を女性が占めます。産休や育休の取得だけでなく、保育園が休みの時には会議室で子どもの面倒を見るなど、社員み



12板金の曲げ加工を行う西畑さん。製造現場だけでなく管理部も含めた各部署で、それぞれ1週間ずつ経験を積みみます。3整理整頓された綺麗な工場内。

んなでアイデアを出し、助け合いながら、仕事と子育ての両立がしやすい環境の整備に努めています。

さらに、事務職や技術職を問わず、資格が取得できるような体制も充実。約半数の社員が、ビジネスキャリア検定資格や工場板金技能士の資格を取得しています。「自分を成長させるために会社を活用してもらえたら」と話す野村さん。これからも、何事にも積極的にチャレンジできる体制づくりを進めていきます。

西畑千裕さん(32)は、子育てがひと段落し、ものづくりがしたいと、自ら溶接技術を取得して、今年の7月に協和プレス工業に就職しました。入社後は、1か月半の研修を通して、様々な部署で経験を積み重ねています。目の前で職人技術を見て、日々勉強できることが楽しいという西畑さん。「色々なことを学んで、まずは工場板金技能士の資格を取りたい」と意気込みを話してくれました。



協和プレス工業(株) 管理部  
部長 野村 侑加さん



4素早く確実に製品チェックを行う西尾さん。

また、粉河地区出身の西尾千晶さん(24)は、大学の合同説明会で協和プレス工業と出会い、4年前に入社。現在は、製造部で製品を揃えて数量を確認する納品出荷業務に携わっています。類似品や材質の違う製品に細心の注意を払いながら、丁寧に梱包をしていきます。「部署を越えて先輩たちから声をかけてもらえることが、とても励みになるんです」と笑顔で話す西尾さん。残業で体が疲れることもあります。家族や職場の仲間と話をすることで疲れも吹き飛ばすといいます。

「日々鍛錬、日々成長」アットホームで風通しの良い雰囲気の中で、会社も社員も、日々一緒に成長していきます。



協和プレス工業(株)の  
ホームページはこちら